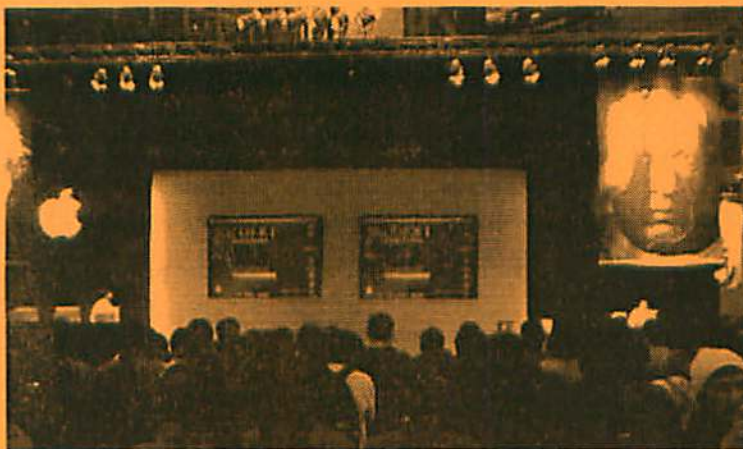


林檎

岩手Mac友の会

Vol.10, No.1 1998.3.21

Iwate Macintosh Funclub



最後のMACWORLD?

MACWORLD EXPO Tokyo '98 が千葉県幕張メッセで1998.2.18 - 20の日程で開催されました。

写真は会場内のApple社ブースの様子です。ご覧のように入場者の熱気は今までと同様に感じられます。事実開催期間中の来場者数は、昨年と比べて微減であったことが主催者から発表されました。出展社からの無料の招待状が半減し、有料の入場券を購入しての来場や、Macintoshという一機種のコンピュータに関連した展示会ということを考え合わせると人気の程がうかがえます。

しかし、主催者から発表されたのはMACWORLDは今年で最後というショッキングな内容でした。これは単独では最後という意味で、実際には他のイベントとの共催という形に

なるというもので、全く無くなるということではありません。

最大の原因は来場者数ではなく、出展社が減ったことにあります。ベンダー各社がWindowsにビジネスの主力を注ぐのは経済の原則でしょうが、根強いMacintoshファンの存在も無視しないで欲しいものです。

(ここから独り言)

でもまあ、私がMacintoshを買った頃は、MACWORLDはおろか、国内のシェアも1%以下だった。それでもマックを選んだという人達同士の連帯感は初対面であることなど忘れてしまう程だった。そして、その頃の方がUG活動が熱心だった。そんな良き時代にまた向かっているのかも知れない。Apple社がそんな人達を納得させる素晴らしい製品を発表することを期待したいものです。

IMF総会'98

第10回岩手Mac友の会総会を4月25日(土)にマリオスで開催します。(詳細は10頁をご覧ください。)

ホームページ移転

岩手Mac友の会は、宮武伸裕さんのご協力で独自ドメイン名を取得して、ホームページを下記に移転しました。総会案内も掲載していますのでご覧ください。

[HTTP://www.imfc.org/](http://www.imfc.org/)



Inside

Word Processor 機能比較	2
私のMaLife (1)	4
私のMaLife (2)	6
ピックアップ	8
山の花	9
総会案内	10
編集後記	11
会員名簿	11
掲示板	12



Word Processor

機能比較



IMFCの皆さんは普段どのようなワープロをお使いですか。

私がMacintosh (パソコン) を購入して1年9ヶ月が過ぎました。その間、Performa5320にバンドルされてきたクラリスワークス2.0、縦書きがしたくて購入したMacWORD4.0、興味本意で買ったNisusWriter5.02、EGBridgeが欲しくて一緒に買ったEGWORD7.0、MMM'97で野村会長のプレゼンテーションを見て衝動買いたしたRecoWrite、昨年末購入したPascal Write2、大学のMacintoshにインストールされていたので使わせてもらっているMicrosoft Word6.0、ORGAI1.5と様々なワープロを使用してきました。

現在はUpdateし、次のようになっています。

- ・クラリスワークス4.0v4
- ・MacWORD4.03 (表示には4.0と出る)
- ・NisusWriter5.8
- ・EGWORD8.0
- ・ORGAI3.0
- ・PascalWrite2.01

他に、WordPerfect、I-Write、古くはMacWrite II等がありますが、私は使用したことがないので、今回は知る範囲の情報を書きたいと思いません。

ここでは、それぞれの機能の比較をしながら、どのような場合にどのようなソフトが使いやすいのか紹介したいと思います。あくまで私の狭い用途の中での比較ですので、使用方法を熟知していないための誤認識や独断があるかもしれませんが、容

赦ください。

1. 縦書き機能

クラリスワークス4.0v4	○
MacWORD4.03	○
NisusWriter5.8	×
EGWORD8.0	○
ORGAI3.0	○
RecoWrite	×
I-Write	×
PascalWrite2.01	○
MSWord6.0	○
WordPerfect3.1	×

*クラリスワークスとPascal Writeは、最新版になってから縦書き機能が付加されました。

文系の人間としては、日本語ワープロで縦書きができないのは困ります。縦書きにすると一般的にスクロールが極端に遅くなりますから、全て書き込んでからレイアウトを変更されるほうがよいでしょう。縦書きは、あまり使わない機能かもしれませんが、いざ無いと困る機能でもありますね。

2. 作表機能

クラリスワークス4.0v4	○
MacWORD4.03	○
NisusWriter5.8	○
EGWORD8.0	○
ORGAI3.0	○
RecoWrite	○
I-Write	○
PascalWrite2.01	○
MSWord6.0	○
WordPerfect3.1	○

全てのワープロで作表機能がありますが、表の扱い方がソフトによって少々違うので、説明をしておきます。

表の挿入の仕方には二通りあります。

- (1)オブジェクトとして挿入する場合
- (2)行として挿入する場合

行としての挿入しかできないソフトは、NisusWriter、ORGAI、RecoWrite、MSWord、PascalWrite、WordPerfect。

オブジェクトとして挿入できるソフトは、クラリスワークス、EGWORD、MacWORD。これらは作表後に位置を自由に変更できます。

特にクラリワークスは行としても、オブジェクトとしても挿入が可能なので、作表機能としては非常に使いやすいと思います。EGWORD、MacWORDは作表機能のインターフェイスが使いづらく、レイアウトも面倒に感じました。中でも、MacWORDは使いづらいです。

行として挿入してしまうと、後から全く別の場所に表を移動したいという場合、手続きが面倒ですし、レイアウトも変わってしまうので不便を感じる場合があります。

表を作成する場合には次の二通りの状況が考えられます。

- (1) 表の列数、行数が初めから分かっていて、且つ1ページ以内に収まるかどうかの見当がついている場合
- (2) どのセルにどのぐらいの長さのテキスト、または数値が入るか分からない場合

(1)の場合は、どのソフトを使用しても全く支障をきたしません。しかしながら、(2)の場合は面倒です。ほとんどのソフトは、表がページをまたぐと「改ページ」扱いになり、次のページに表全体が飛んでしまいます。このような場合に便利なのが、MSWordです。MSWordは、表がページをまたぐと、きちんと仕切り線を入れたいでくれます。この点では他のソフトを引き離していると思います。

表の中に縦書き、横書き両方の文字列を混在させたい場合は、クラリワークスの作表機能が優れています。縦書きが出来るワープロでも表の中のテキストは横書きしかできないものがほとんどです。

行や列を後から分割し直すということがあります。PascalWriteは行の再編成はできるものの、列は再編成できません。この点で一歩遅れをとっています。

3. HTMLファイル生成機能

クラリワークス4.0v4	○
MacWORD4.03	×
NisusWriter5.8	○
EGWORD8.0	○
ORGAI3.0	○
RecoWrite	○
I-Write	○
PascalWrite2.01	×
MSWord6.0	×
WordPerfect3.1	×

バージョンアップとともにhtml形式での保存ができるワープロが増えました。初めはシェアウェアツールを使用するか、この機能では先駆けであったRecoWrite、I-Write等のワープロを使用するしかありませんでした。(もちろん、Editorを使用して全部うつというのが王道でしょう)

最近ではシェアウェアツールの種類も増え、市販の変換ソフトもいろいろ出ているようですし、クラリホームページ、PageMill等に代表されるホームページ作成ソフトも広く使われるようになってきており、ワープロでhtml形式での保存ができなくてもよいという声もあるようです。しかしながら、共通のワープロソフトを持ち合わせていない場合にレイアウトを変えずに見てもらう為には、htmlでの配付という方法は有効と思われます。ただ、最近は同じ用途にPDF形式を採用する機会が多くなりつつあるようです。

ワープロの機能でできることは、単にhtmlへの変換・保存だけです。で、「E-mail to:~」や文字列の点滅、別ページや別行へのリンク等の

設定は、直接ファイルを開いてタグをうつか、ホームページ作成ソフトで開いて設定する等の手続きが必要となります。

*生成されたhtmlファイルや画像が、どのようなクリエーター・タイプで保存されるかは、ワープロによって違いがありますが、紙面の都合上省略いたします。

4. 多国籍言語への対応

多国籍言語への対応に関しては、多くのソフトが未対応です。話題のOffice98のMSWordも未対応のようです。対応しているのは、クラリワークス4.0v1以降、PascalWritev1.0以降、I-Write 1.0以降、NisusWriter (SoloWriter時代から対応していた)の四つのみです。さらに縦書きも出来るとなると、クラリワークス4.0とPascalWrite2.0に限られます。

ワープロではありませんが、PageMakerも縦書きが出来て多国籍言語混在テキストが入力できます。ただし、対応を謳っていないので、例えば右から左に横書きするアラビア語などに対応しているのかは、定かではありません。ハングルに関しても同様です。

ワープロの四つの機能のみを比較してみました。ワープロとして重要な要素はまだあります。ルビがふれるか、注釈機能はあるのか、検索・置換はどのぐらい強力か等々。今回比較した四つの機能の有無のみで、ワープロソフトの善し悪しを断じるものではありません。それぞれの環境と用途に応じたソフトの選択が必要でしょう。

慣れ親しんだ使い心地という点ですが、実はいちばん重要かもしれませんね。

文・編集：熊谷知暁

私の

成田新一

MacLife

僕は今、めんこいテレビの営業部で仕事をしています。

昨年10月から盛岡にかえってきました。

前職は電気通信関係の会社に在りまして、主に広告宣伝関係の仕事をしていました。

東京にいた5年前、丁度インターネットブームで、久保田達也という方の講演みたいなのを聴いて、「これやらないと・まずい。」随分とあせったのを覚えています。

早速秋葉原に行き、Power Macintosh 7100/80AV



と、Power Book550c



を買っ

て、NIFTY-SERVEと、Rimnetに入会して、毎日仕事が終わってからパソコンの前に座り、設定や操作に苦戦しながらも楽しんでいた自分でした。

当時会社でパソコンが、一人一台付与されるようになったのは、それから半年後。Excelで御見積、マックドローで企画書を

書くのがステータスでした。

僕は、このように主に仕事の流れの中で、いつもマックと一緒にでした。

もし、マックがなかったら、自分の考えをうまく人に伝えられなかったし、転職もできません

でした。いわゆるインターネット転職だったからです。

いつも見ていためんこいテレビのホームページに、突然「営業の鉄人募集」というバーナを発見。1週間考え、思い切って電子メールをだし、その後スムーズに決まりました。

会社にいったら、マックで社内



<http://www1.nisiq.net/~nariyan/piero/dance.html> より



<http://www1.nisiq.net/~nariyan/piero/dance.html> より

LANをくんでいて、これまたラッキーでした。

おかげで、社内メールや社内システムも、今は自宅からアクセスできるようにこっそり設定してしまいました。

今は、カラープリンタとスキャナも設置し、絵コンテや、番組の企画書を書いたりしています。

また、インターネットでは、昔、踊っていたピエロの写真を掲載しています。

(<http://www1.nisiq.net/~nariyan/piero/dance.html> 随時更新していく予定です。)

もし、Windows系に染まっていたら、それなりにやっていたのかもしれませんが、ハードルは高かっ

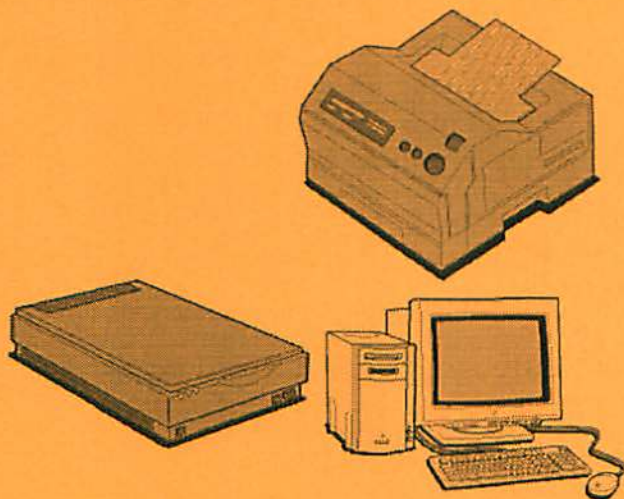
たはずです。

これからも、流れにさからわず、新兵器にもついていきたいと思っております。

とても普通の文になってしまい、情報提供できるレベルではないのが申し訳ありません。

今後も勉強していきます。みなさまよろしくお願ひ申し上げます。

文：成田新一
編集：熊谷知暁



私のMacLife

小野寺 俊博

My admiring computer = Mac

インディペンデンス・デイという映画がある。そう、記録的なヒットを飛ばしたSF映画であり、ご覧になられた方も多いただろう。ちなみに、ストーリーを簡単に言うと、宇宙人VS地球人といったところであろうか。(笑)

ホワイトハウスのLANがMacで組まれているなど、あの映画のいたるところにMacが登場している。まだご覧でない方には申し訳ないが、さらにラストには、PowerBook(5300、SystemはOS8、ちなみにBeep音はSimple Beepであった)を介して、ウィルス(映画ではコンピュータ・パイオと言っている)を宇宙船のシステムに侵入させることでその機構を破壊し、人類の危機を救ったのである。Macの活躍ぶりが相乗効果を生み、非常に爽快なシーンであった。

不思議なことに、未知であるはずの宇宙船のホストコンピュータになんなく接続することができたわけだが、そこは宇宙規模の規格を持ったMacの素晴らしさというところか。

このようにMacのアピール度が非常に大きいことから、この映画は、人類を救うところまでくるとやはり信頼できるコンピュータはMacしかないということをテーマにした2時間30分に及ぶMacのコマーシャルだったのではないかというのが私の持論なのであるが、さすがに誰も相手にしてくれない人はいない。

Macとの出会いにより、私も人生を大きく変えられている。もちろん、それはよい方向へであって、まさに人生の危機を救われたといったところなのである。

Macと出会ったのはちょうど2年くらい前、パソコン講習会でLC630に触れたことに始まり、それがパソコンに初めて触れたときでも会った。なんとその3日間で、ブラインドメソッドを習得するというほどハマっていたのを覚えている。その後1年間全く触れる機会がなかったのだが、授業でhomepageをつくる楽しさを知ったことを機に瞬間にMacの魅力にとりつかれたのである。さらに幸運なことは、センター科に所属できたことであった。貸し切りという環境を与えられ、某熊谷氏に負けず劣らず1日中Macの前に座っている毎日であるのは言うまでもない。



人が近寄らないほどの雰囲気を持つ我がLC630たち。(なんと公共物)

最近、念願のMy Mac環境(PM7600/200、96MB、2+2GB、タブレット、BOSE製スピーカー、PM-750Cなど)を手に入れたことにより、もうもはや誰も止められない状態である。当然ながら、私の少ない財産も

すべてMacに注ぎ込まれている。おそらくこの原稿が製本されている頃には、CD-Rライターを手に入れてすっからかんであろう。(今のうちだけなんですよ、お父さん方...^^)

時々、もし私がMacに出会っていなかったらと思うことがあるのだが、ホント今頃どうなっていたのだろうかと思ふの不思議さを感じざるを得ない毎日である。



シンプルな環境にある愛しのPM7600/200。最近、CDプレイヤーの仕事まで任せられ、忙しいらしい。

ラーメンのふた

先日、テレビを観ていたら、カップラーメンのふたをコレクションしている人がいた。その様子を見ていて、ふとどうして人間はこんなにもコレクションが好きなのだろうと思ったのである。人間の本能なのだろうか。

そもそも、どうして人間は何かを集めたがるのだろうか。集めるという行為をすることで、何か自分の心のよりどころみたいなものを求めて

いるのか、はたまた征服欲か。
(うーん、難しい。あとで塚野先生に聞いてみよう。)

コレクションにハマるとい
うのは、かなりタチの悪いもので、い
ったん始めてしまうとなかなかやめる
ことができなくなるという性質を持
つ。集めているものに、新たな種類
味なものである。そして、悲しいか
な、そういったガラクタ集めに走っ
てしまうのはたいてい男である。む
ろん、ラーメンのふたを集めていた
のも「彼」であった。(;-)

しかしまあ、何かのきっかけで
ラーメンのふたなんぞ集めだしてし
まった彼は、どう考えてもちょっと
気の毒ではないか。熱が冷めてし
まったときに、何千枚ものふたに囲
まれて「おれっていったい・・・」
なんてつぶやいてる姿を想像してし
まう。せっかく集めたのだからとい
うことで、ラーメンのふたも捨てき
れずにいるだろう。近所の人々に
「小池さん」などとあだ名がつけら
れるかもしれない。

と、前置きで彼を小馬鹿にしたに
も関わらず、私も無類のコレクション
好きである。そして、そのほとんど
が彼に負けず劣らずガラクタばかり
である。例をあげるなら、カラス
キーム500個、アイコン12400個、サ
ウンド(system7)130個、デスク
トップパターン1000枚、デスクト
ップピクチャ350枚など、そんな集め
てどうすんものというものばかりであ
る。

極め付けは、AppleのCM(QT
movie)集めであった。「1984」から
「G3 Snail Commercial」まで、その
数78個、計472.6MBの代物である。
「であった」ので一応終結している
のだが、いつ発作が起こるかもしれ
ないので、自分自身ヒヤヒヤもので
ある。本質的にはラーメンのフタと
なんら変わらないガラクタなのだ
が、本人は「これはデジタルなガラ
クタだ!」とむなし主張をしている
ようだ。

まあ、その人が好きでやってること
なのだから、その質について問うな
んてことは論じるだけ無駄なことな
んですけどね...

Apple ブランド

これもまた不思議な話で、人間と
いうものはブランドに弱い。社会的
に価値のあるものを身に付けたり所
有することによって、それを手に入
れたという精神的な満足感を得たが
るようなところがあるのかもしれない。
普段何気なく見ているあのリン
ゴだが、その存在感はNIKE社のそれ
と同様、もしくはそれ以上のものが
持つ存在感は人々を圧倒するような
威圧的なものではなく、「computer」という気難しそうなイ
メージのものを「loy」に変えてしま
うほどの親近性を持ったマークなの
である。かわいさをもちつつも、
それでいてどっしりとした風格を漂
わせているのだ。

そういったリンゴのマークである
から、特に日本の人々はそのリンゴ
のかわいさにマッチした「ハードの
コンパクトさ=かわいさ」にもこだ
わっているのではないだろうか。ご
存知のようにOld MacやPB2400が売
れている。ハードの形にまでこだわ
るところなど、本当にMac文化は面
白いものである。

当然のこと、私もいとも簡単にこ
の魅力にコロッとってしまったのは
言うまでもない。Macを買いに秋
葉に出向いた際には、店内に展示さ
れているマシンの数々よりも、マグ
カップやマウスパッドなど何気なく
置かれているAppleの小物の方に目を
奪われ、感動していたほどである。
塚野先生の部屋にあるAppleの掛け時
計を密かに売ってもらえはしないか
と期待していることは、くれぐれも
秘密である。もちろん、例会で白石

氏のトレーナーや帽子を見て、よだ
れが出たのはいうまでもない。(^^)

余談だが、PC Watchのhomepageに
Mac VS Winという企画の投票結果が
掲載されていて、そこでもAppleのブ
ランド性を垣間見ることができる。
Macユーザーの中でMacが好きな理由
として「Appleの製品だから」という
項目を挙げる人が31%であるのに対
して、Winユーザーの中でWinが好き
な理由として「Microsoftの製品だか
ら」という項目を挙げる人はわずか4
%だったのである。(ちなみにWin
ユーザーでWinの不満点として、44
%の人がMicrosoftの製品だからと
いう項目を挙げているのは面白い。
自宅ではMacという人が多いことが
うかがえる。)でデータも示すよう
にApple社、そしてMacが、ユーザー
にいかにか愛された存在なのか数字と
なって現れているのである。



「頭張れゲイツ君」(<http://www.asahi-net.or.jp/FV6N-TNSK/gates/>) 面白いですよ、これ。

Appleがいかにか苦しい立場にあろう
とも、私はAppleそしてMacを支持し
続ける。たとえ、職場にWinが導入
されていようともMacをもち込むで
あろう。たとえ、異端視されよう
ともMacをパートナーとして、一生使
い続けるであろう。

そう、私も「Think different」な人
になりたいんですよ、ピカソみたい
に。

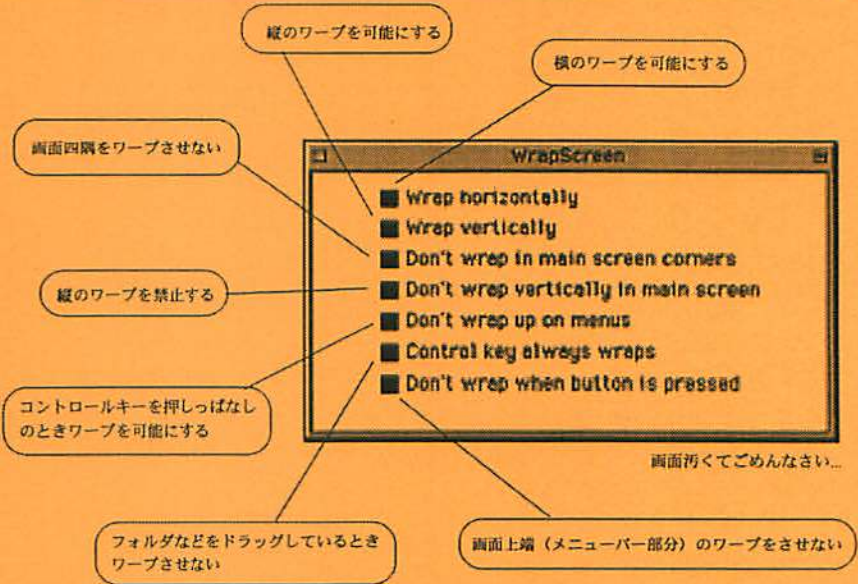
Edited by 小野寺俊博

隠れた便利を発見しましょう

ビ
ック
ク
マ
ッ
ッ

突然登場したこのコーナー、今回紹介するのは、「Wrap Screen」。作者はEric Aubourg氏である。入手先は「FTP search v3.6」(<http://ftpsearch.ntnu.no/>)などのサーチエンジンや、雑誌の付録CD-ROMなどで手にすることができる。これはシェアウェアなのであるが、代価が「自分の作ったプログラム」と一風変わっている。「プログラムなんてつくれないよ」という人がほとんどであることを考えてか、未登録のままでもいっさい警告は出ない。どうやら、作者にとってはお金よりもプログラムの方が価値があるらしい。

さて、この「Wrap Screen」はどういうものかという、ポインタ（矢印）が画面上をワープするようにするINITなのである。「は？ワープ？」と思われた方も多いただろう。普通、画面の端ではポインタはそれ以上進むことはできないようになっているのだが、「Wrap Screen」はポインタが画面の端を突き抜けるようにしてしまうのだ。つまり、ポインタが画面の下端までいくと、上端から出てきて、左端に行くと右端から出てくるのである。例えるなら、画面という空間が、立方体から境のない平面に変化したといったところだ



ろうか。

もちろん、ワープに関して細かい設定ができるようになっている。（上図参照）たとえば、横方向のみをワープさせたり、メニューバーの上の部分だけワープさせないようにしたり、あるいはフォルダなどをドラッグ&ドロップしながらワープできるようにするなどの設定が用意されているのだ。（これはいまだに不

「Wrap Screen」は多くの雑誌の付属CD-ROMに収められているのだが、不思議なことに「カスタマイズ」や「その他」といった分類がなされている。私はそれは違うと思うのである。左端にあるポインタを右端に移動させたい場合、デスクトップ上でまあ30、ほど右に動かしていたものが、左に3、程度動かすだけで済むのである。明らかにこれは「ユーティリティ」なのだ。

今回のお題： Wrap Screen

思議な感覚になる。)

この「Wrap Screen」、どうやら好き嫌いがはっきりと分かれるようである。私は試用してみるなりすぐに「おーっ、これは便利だ!」と手放せなくなってしまう口なのであるが、熊谷氏や塚野氏などは「なんじゃこりゃ」、「使いづらい」などとブーブー不平を口にしておられた。

私の知るかぎり、好き嫌いの割合は1:1ぐらいなのであるが、これほど賛否両論分かれるINITも珍しいのではないのだろうか。（笑）

現在のバージョンは1.4なのだが、驚くことに漢字トーク7.5時代か

らいっさいバージョンアップされていない。これは作者が更新をさぼっているのではなく、その必要がないだけなのである。現にOS8.1上でも全く不具合なく、それでいて他のINITとのコンフリクトも全く報告されていない優等生なのだ。（プログラミングのことはよく知らないが、それほど簡単なプログラムだと考えることもできる...^^;)

この「Wrap Screen」、果たしてRhapsody上でも1.4のまま動くことができるであろうか。（笑）

Edited by 小野寺俊博

八幡平の黒谷地から少し山頂よりの道ばたに、7月にヤナギランの群落
が花を咲かせます。つい車で通り過
ぎてしまうのですが、良く見ると淡
いピンクの花で綺麗です。雑草の様
に見過ごされる悲しさを感じます。
こんな事を考える自分に少し驚きな



がら、一時快方に向かった初老期メ
ランコリーがぶり返したのかとも
思ったりします。去年は体調が優れ
ないときがありましたが、今年は二
人の息子の良い出来事があり、素晴
らしい山の花との出会いを期待して
おります。



1998年3月



第11回、岩手Mac友の会総会のご案内

岩手Mac友の会
会長 野村行憲



早いもので岩手Mac友の会も結成後10年を経過し今年で11年目を迎えることになりましたが、会員の皆様におかれましては益々充実したMacLifeをお過ごしのことと存じます。

さて、恒例の定期総会を下記のとおり開催致しますので、お忙しいところ恐縮ですがご参集のほどお願い致します。岩手Mac友の会は、会員の相互支援によって運営される互助互恵組織です。会の運営などについて、ご意見、ご要望、ご不満をお持ちの方は是非とも会の運営に参加され、この会を導いて戴けるよう、お待ちしております。

来年のMACWORLD EXPO, Tokyo の開催が危ぶまれるなど、最近なにかと暗い話題の多いApple社の動向にUGメンバーも不安を感じている中であって、ますますUGの役割が重要になってきている時期だと思えます。この不安を払拭するためにも総会に参加して情報交換を致しましょう。総会ではIMFの活動が全ての会員にとってより有用なものになるよう、建設的な意見をお待ちしております。

記

総会開催場所：マリオス（盛岡駅西口）18階、184および185会議室
盛岡市盛岡駅西通2-9-1（JR盛岡駅西口）

<駐車場>青空と立体の2箇所、どちらも150円/30分

日時：1998年4月25日（土）午後1時30分受付開始

プログラム：13:30 開場（受付開始）

14:00 総会開始

1997年度活動報告、1998年度役員改選・活動計画など

17:00 解散（総会終了後、会費制の懇親会を予定しています。）



【注意事項・お願い】

当日は、1998年度の年会費（三千円の予定）を徴収させていただきますので、ご用意下さい。当日総会に来られない方は、年会費、入会申込書と、総会の委任状を現金書留にて総会開催以前に届くよう、会計の笹川 順子さん宛て（〒020-0823 盛岡市門一丁目19-19）に郵送して下さい。振り込みの場合は「郵便貯金：記号18370、番号11993671、口座名義：岩手Mac友の会、笹川 順子」宛に振り込み、入会申込書と振り込み控えのコピーを上記に郵送して下さい。

「MEGUMI」への接続を新規に希望する人は、管理者の土村さん宛に2HDのFDと返信用封筒（切手を貼って）を同封して申し込んで下さい。名前のローマ字表記が必要です。（宛先：〒020-0802 盛岡市つつじが丘36-10 土村 中）

キリトリセン（コピーしてお使いください）

委任状

私は、1998年4月25日に開催される、第11回岩手Mac友の会総会の議決権を

- 議長に委任します。
 氏に委任します。

（いずれかにチェックして下さい）

1998年 月 日

会員名： _____

印

編集後記

やっと担当分を書き上げました。書き上げるという表現はDTPには似合わないが他の妥当な表現が無いのです。福沢論吉先生なら、ぴったりの造語を生み出してくれたのですが、凡人の私には望むべきもありません。



長年の酷使で DuoDock の電源が壊れてしまいました。中古価格ぐらいの修理代がかかりましたが、Internet によれば、コンデンサ1個を取り替えるだけで直るとのこと。まだまだ修行が足りません。

野村

「私のMACLIFE」と「ピックアップ」のコーナーを担当させていただきました。初DTPでしたが、どうにかやり遂げたといった感じです。今後もよろしく願いいたします。



小野寺

代理編集長を仰せつかりましたが、話題不足で4頁少ない本号になりました。記事を楽しみにしている方々には、がっかりさせてしまったかもしれません。

私事ですが、3月で学生生活を終えます。親のスネと大学の専用線に頼って、贅沢なマックライフを過ごしてきた者としては、卒業後の生活が少々不安です。電腦な日々を捨てられるか!?

熊谷

私も、なんだかんだ言いながら何年間か、この「林檎」の編集に携わってきましたが、本当に今回が最後になるのでしょうか???

そういえば、記事を集めるのも大変なことは、大変なのですね!

これが、時代というモノなのかもしれませんね!?



土村

会員名簿

浅田 昌徳	IMF035	北上市	白沢 道生	IMF207	盛岡市
我妻 則明	IMF241	盛岡市	菅原 忠雄	IMF124	花巻市
安倍 富士男	IMF230	盛岡市	杉村 栄一	IMF036	盛岡市
阿部 好晴	IMF203	盛岡市	杉村 峰秀	IMF113	花巻市
飯島 仁	IMF211	滝沢村	鈴木 裕之		盛岡市
一井 誠	IMF122	盛岡市	瀬谷 圭太	IMF264	盛岡市
伊藤 光司	IMF077	花巻市	外川 正	IMF244	盛岡市
伊藤 誠	IMF274	盛岡市	高島 浩一郎	IMF012	盛岡市
井上 博幸	IMF239	盛岡市	高橋 晃	IMF031	盛岡市
祝田 美子	IMF227	盛岡市	高橋 丈	IMF261	北上市
宇佐 公生	IMF228	盛岡市	高橋 哲矢	IMF260	西根町
大木 哲	IMF206	盛岡市	高橋 浩幸	IMF091	盛岡市
沖野 覚	IMF044	二戸市	田頭 清光	IMF278	盛岡市
小野寺 一郎	IMF248	紫波町	田村 修	IMF242	盛岡市
柏谷 貴志	IMF282	盛岡市	田村 俊博	IMF289	宮古市
神 達宏	IMF229	盛岡市	千田 秀明	IMF285	東磐井郡
上平 幸雄	IMF291	盛岡市	千葉 浩保	IMF126	盛岡市
菅野 研一	IMF211	宮古市	塚野 弘明	IMF204	盛岡市
菅野 卓矢	IMF006	盛岡市	土村 中	admin	盛岡市
菊池 弘光	IMF269	花巻市	寺田 明功	IMF068	弘前市
木村 栄子	IMF268	盛岡市	照井 芳夫	IMF026	花巻市
木村 直弘	IMF270	盛岡市	遠山 明人	IMF200	盛岡市
工藤 まさき	IMF275	二戸市	徳富 亘	IMF015	花巻市
工藤 聡	IMF094	秋田市	戸田 文彦	IMF234	盛岡市
園光 勝美	IMF243	盛岡市	戸塚 孝徳		盛岡市
久保 司	IMF235	山形村	中島 恵助	IMF236	盛岡市
熊谷 茂	IMF279	盛岡市	長土居 正弘	IMF087	盛岡市
熊谷 知暁	IMF273	盛岡市	中野 岳史	IMF254	盛岡市
熊谷 朋也	IMF008	秋田市	夏目 俊	IMF276	盛岡市
熊谷 雅也	IMF249	大船渡市	成田 新一	IMF288	宮古市
熊谷 ゆかり		東京都	西島 光茂	IMF177	盛岡市
後藤 百合子	IMF271	盛岡市	根本 聡彦	IMF042	札幌市
小松 信行	IMF280	盛岡市	野村 行憲	IMF000	盛岡市
小松 寿夫	IMF102	仙台市	長谷川 晃	IMF240	花巻市
今田 莞爾	IMF256	盛岡市	花立 純	IMF246	矢巾町
近藤 英一	IMF226	紫波町	濱 朋哉	IMF263	玉山村
斎藤 秀一	IMF109	盛岡市	福井 和彦	IMF218	盛岡市
斎藤 博之	IMF251	盛岡市	福士 喜兵衛		盛岡市
斎藤 裕	IMF262	紫波郡	福田 健次	IMF005	盛岡市
酒井 裕之	IMF284	盛岡市	藤澤 義榮	IMF209	花巻市
桜井 瑞子	IMF267	滝沢村	藤村 秀男		滝沢村
笹川 順子	IMF220	盛岡市	藤村 洋	IMF028	盛岡市
佐々木 明宏	IMF088	盛岡市	藤原 友行	IMF265	盛岡市
佐々木 幸司	IMF033	盛岡市	古川 裕一	IMF225	盛岡市
佐々木 雄久	IMF202	岩手町	本多 健一郎	IMF025	盛岡市
佐々木 治男	IMF237	矢巾町	三浦 秀徳	IMF283	盛岡市
佐々木 秀輝	IMF258	西根町	三浦 吉範		盛岡市
佐々木 文雄		紫波町	村上 厚子	IMF257	盛岡市
佐々木 眞嗣	IMF247	盛岡市	村上 宏文	IMF099	盛岡市
佐々木 吉信	IMF215	盛岡市	村上 弘行	IMF049	盛岡市
佐藤 顕	IMF093	仙台市	村田 知己	IMF266	盛岡市
佐藤 雅子		盛岡市	柳田 久弥	IMF231	石鳥谷町
佐藤 学	IMF119	水沢市	戴 敏裕	IMF214	盛岡市
佐藤 護人	IMF010	盛岡市	山田 政行		盛岡市
佐藤 安男	IMF232	盛岡市	山本 淳	IMF034	盛岡市
渋谷 昌二郎	IMF238	二戸市	吉田 勇一	IMF255	滝沢村
清水 昭子	IMF272	北上市	吉永 國光	IMF259	盛岡市
十文字 保雄	IMF277	二戸市	渡辺 浩志	IMF069	能代市
白石 茂	IMF201	盛岡市		(1997.12.10.現在)	
白石 隆	IMF039	盛岡市			

会費納入先

振込先(郵便貯金総合口座)

記号:18370 番号:11993671

名義:岩手Mac友の会 笹川順子

なお、振込まれた場合は、住所・氏名・連絡先などを別途ご連絡ください、よろしくお願いいたします。

例会案内

5月 16日(土)

6月 20日(土)

14:30 開場

15:00 例会

17:00 解散

場所:

岩手大学教育実践研究
指導センター (変更有)

四月の例会は無し

通常であれば、4月 18日(土)に開催される四月の例会ですが、同月の4月25日(土)に、総会が予定されている為、無しにいたします。

なお、総会の日時等の詳細は、本号10頁を参照下さい。

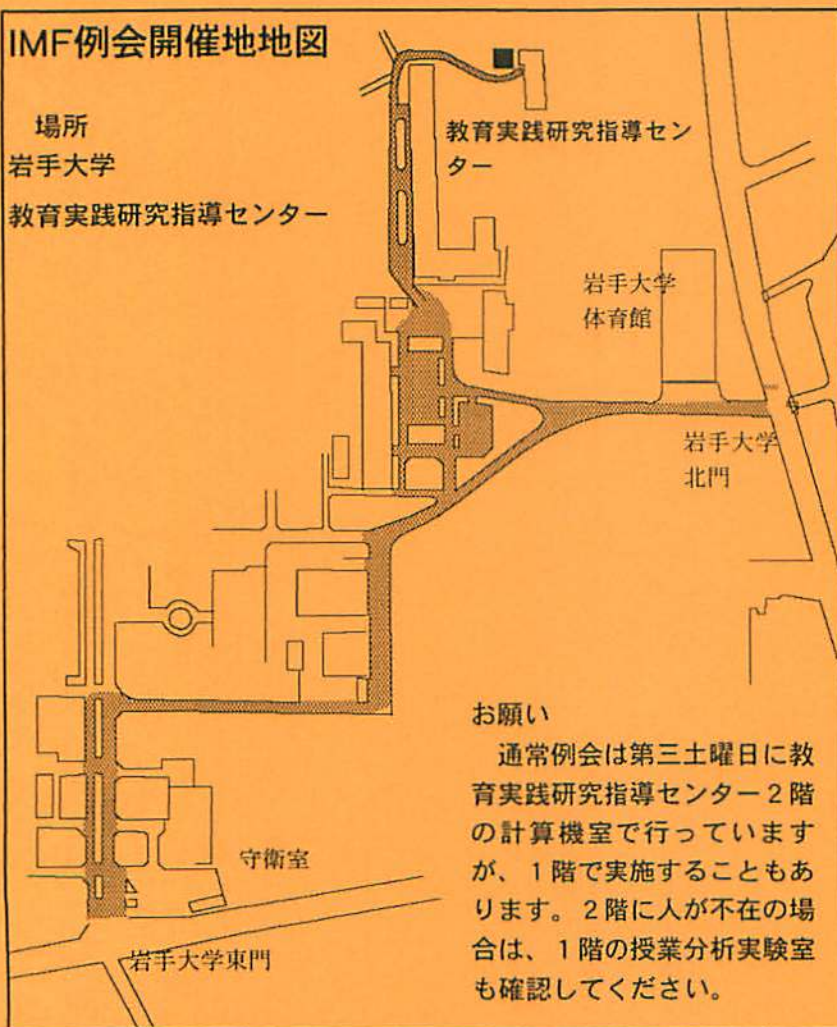


例会の後で、場所を変えて編集会議を行っています。お時間のある方ご一緒しませんか?とっても楽しいですよ!とても勉強になりますよ。

IMF例会開催地地図

場所
岩手大学

教育実践研究指導センター



お願い

通常例会は第三土曜日に教育実践研究指導センター2階の計算機室で行っていますが、1階で実施することもあります。2階に人が不在の場合は、1階の授業分析実験室も確認してください。



「林檎」45号は...

First Class	ATOK11
MacVJE-Delta	EGBridge9.0
ClarisWorks	Freehand
Acrobat	Illustrator
PhotoShop	SuperPaint
Canvas	MacPaint
NisusWriter	EGWord
Jedit	QuickTake200
GraphicConverter	

等で作ったものをPageMakerでまとめ、LaserWriter, Microlineでプリントしました。

「林檎」第45号 1998/3/21

編集長 藪 敏裕

発行 岩手Mac友の会

代表者 野村 行憲

020-01盛岡市北松園 3-34-2

非売品